



石岡一高 同窓會 會報

— 発行 者 —
石岡一高同窓会
 責任者 金井 一夫
 TEL 0299(22)4135(F0)
 FAX 0299(22)6289
 Email: shusukai@ishikal-hod.jp
 印刷所 高橋印刷

校訓を生かし 着実に！



同窓会長 金井 一夫

昨夏の猛暑のあとのこの冬の寒さと風雪、最近の世界中の気候はどうなっているのでしょうか！ そのような中でも梅の蕾は大きく膨らんでおり、春のくる日を告げるこの頃です。同窓生の皆様には、今年も御元気で新年をお迎えの事と存じます。日頃の同窓会への御支援に、改めて感謝を申し上げます。皆様の御活躍を御祈念申し上げます。今年も多くの卒業生が誕生し、同窓会に入会いただきました事、心から歓迎をしたいと存じます。

若い人達が毎年加入し、我が同窓会が連綿と続くことが、石岡一高の歴史と伝統を輝かしいものにする為のスタートでありますので皆さんの今後に御期待を申し上げます。

さて、今年の六月には建築中の新しい校舎が完成する予定であり、急ピッチで工事が進行しております。私共が学んだ旧校舎が無くなることに一抹の寂しさを感じますが、新校舎を中心に新しい石岡一高の歴史が刻まれていくことになりました。教訓「誠実」「自治」「博愛」の精神のもとに、毎日の学習をはじめ、生徒会活動、部活動、学

校行事等の諸活動に伸び伸びと励み、充実した山王台の生活を過ごされるようお願いしたいと存じます。昨年、山王神社の鳥居が古くなり危険だとの話があり、暮れの例大祭迄に新調し、同窓会で寄付をいたしました。一高の守り神として役立つ事を願っております。

また、第二農場の豊かな自然のもと、石岡一高の有機JAS認定ほ場で栽培したブドウを使用し、栽培から製品化までを生徒達が企画立案した石岡一高ブドウサイダーを製造販売したので、同窓会で応援してほしいとの申し入れがありましたので、役員会を開催して、支援することに致しました。二月中には製品として御目見えする予定であり、「いしいちぶどうサイダー」として、親しまれるように、また、生徒達の励みになる様に応援をして行きたいと考えますので、同窓会の皆様の御協力を特にお願い申し上げます。

優秀な先生方や、心ある御父兄の御協力により、今年も伝統ある石岡一高の歴史が輝き続ける事を御期待し、挨拶とさせていただきます。



御挨拶

学校長 藤枝 和也

平成二十五年度の定期人事異動で、校長として石岡一高に赴任いたしました。懐かしの母校に校長として勤務できることを大変光栄に思います。

私は四十年前に生徒として在籍していましたが、現在の石岡一高は当時とは大きく様変わりをしています。今ももう、私が一年時に過ごした二階建ての木造校舎も、二・三年時を過ごした四階建ての水久校舎も取り壊されてなくなっています。当時一学年四学級あった農業系学科も二学級に減り、普通科が一学年四学級から六学級に増えています。全日制には一人もいなかった女子生徒が、全生徒の半数を超え、男子生徒を凌いでいます。しかし、様々なものが変わっていく中で、緑豊かな山王台の様相は変わらずに、今でも校内の彼方此方に数多くの樹木が茂っています。特に、前庭の楠は樹齢を重ね、石岡一高のシンボルとして当時よりも大きく堂々とした姿で聳え立っています。その立派な楠の姿に、長年に亘って積み上げられてきた石岡一高の歴史と伝統を感じます。

取り壊された水久校舎跡では、新校舎建設が進められており、平成二十六

年六月には完成し、使用を開始できる予定です。これからはこの新校舎を中心に新しい石岡一高の歴史と伝統が刻まれていくことと思います。新校舎が旧校舎以上に石岡一高発展の象徴となるよう期待しています。

さて、現在の本校は、各学年に普通科六学級、園芸科一学級、造園科一学級及び定時制普通科一学級が設置され、生徒定員が一千名を超える県内でも屈指の大規模校です。目指す学校像を「一、創立百余年の歴史と伝統を受け継ぎ、普通科と農業系学科の併置校としての特色を生かし、地域の中核として信頼され期待される学校。二、生徒一人ひとりが個性を伸ばし、将来の夢を実現するための知識・技能を身に付け、自信と誇りを持って卒業していく学校。三、学習活動、特別活動などのあらゆる教育活動の場面で、生徒と教職員がともに生き生きとした活力ある学校」と定め、そして「一、進学実績の向上。二、学力の向上。三、人間性の向上」を大きな三つの柱として教育活動を展開しています。

本校の生徒の約八割が卒業後の進路として進学を希望し、約二割の生徒が

就職を希望しています。今年度も、茨城大学をはじめ国公立大学、私立大学に多くの生徒が合格し、いまだに求人状況が厳しい中で、就職希望者のほぼ全員が内定をもらっています。

部活動には約五割の生徒が加入し、活発に活動しています。今年度は、ウエイトリフティング部、ソフトテニス部が全国高校総体に出場し、文化部では写真部が全国高校総合文化祭に出品しました。このほか、バドミントン部が関東大会に出場し、野球部が夏の大会でベスト十六に進出するなど、多くの部が活躍をしています。定時制では、陸上競技と卓球の部で全国定通大会に出場しました。

農業関係では、農業クラブ県大会意見発表の区分「食料・生産」で最優秀賞並びに県教育長賞を受賞するなど、



私の思い出

第六十三回卒 松金 久雄

卒業から四十年がたちました。私が石岡一高に入学の年、本校舎建築が進んでいました。一年生の時は木造校舎、二年生からはビカビカの新築校舎で、高校生活を過ごしたことを思い出します。その頃には、プールも新設され、落成式を行った記憶もあります。

本校農業クラブ員の熱心な研究活動と努力が高い評価を得ました。また、園芸科の生徒たちが、農場で有機栽培したブドウを活用して「おいしいちびどうサイダー」を開発し、市内J/A直売所などで販売を開始しました。この製品化にあたっては、同窓会から多大なご支援をいただきました。心より感謝申し上げます。

石岡一高は、平成二十六年で創立五十年を迎えます。これからも同窓会をはじめPTAや地域の皆様のご支援をいただきながら、これまでの百年を超える石岡一高の歴史と伝統に、良き新たな歴史と伝統を積み上げていきたいと思えます。最後になりましたが、石岡一高同窓会のみならずの御発展と会員の皆様のご健勝をご祈念申し上げます。ご挨拶といたします。

私の家から五分もあれば登校できる距離に学校があったので便利な面もある。電車やバス等を使って登校する友達を羨ましく思う時もありました。入学してからは、高校の部活は大変厳しいという評判をうのみにし、中学時代に助んだバスケットボールをあきら

め、文化部に籍を置いていました。家と学校の往復の日々で特に変化のある毎日ではなかったように覚えていますが、校歌の中にある「山王魂」。この年になって多くの人と接すると一高卒業の方が多く、何と言えはいいのかわかりませんが、年の離れた先輩や私より若い世代を見ても同じ学び舎で学んだ者同士「山王魂」を胸にまとまりがあり、知らない人でも不思議と親近感がわいてくるような気がします。

一高生が多方面で活躍していることは市内の広報紙や商工会などで紹介されていて、うれしい限りです。しかし私の願いは、野球部にぜひ甲子園出場

のチャンス勝ち取ってもらいたい。永年果たせなかつた夢をどうか近い将来かなえてほしい。多くの卒業生の望んでいることだと思えます。

現在でも、家が学校に近いことで、一高主催の防災訓練や山王神社の祭礼等、卒業してからも縁の切れない関係でいます。母校のことで協力できることは、惜しみなく続けていきたいと思えます。古い伝統の中、将来の夢や希望をもった学生が、一人でも多く一高の学び舎で育つことを大いに期待しています。新校舎の完成で石岡一高がさらに栄えることを祈っています。

新校舎工事は四階部分建設へ

校舎建設委員会より

プレハブ仮設校舎での生活も三月末で約一年三ヶ月が経過しました。PTAによる仮設校舎へのエアコン（空調設備）設置により、昨年夏季の猛暑をどうにか乗り切ることができました。さて、新校舎の建設工事の進捗状況

についてですが、地ならし後の約六十本の杭打ち工事が難航し、二ヶ月工期に遅れができました。三月末現在、四階部分の建設に取りかかったところですが、完成は六月初旬で、検査後の六月中旬に引越しの予定です。

また、新校舎建設に伴うテニスコートの移設工事は昨年十二月より始まり、三月中旬に完成しました。工事中、引き続きご不便をおかけいたしますが、ご理解の上、ご協力をお願いいたします。



●平成二十五年度

同窓会総会報告

六月二十二日（土）本校仮設校舎会議室において、二十五年度の同窓会総会を開催いたしました。総会では二十四年度の一般事業報告・決算報告、二十五年度の事業案・予算案を議決いたしました。その後、同日、場所を移して石岡プラザホテルにて卒業五十周年祝賀会を開催いたしました。今回は十七名の方々に出席いただきまして、現況や高校生当時の思い出をお話しいただきました。

同窓会員の皆様におかれましては、一連の取り組みにご理解とご支援を賜り有り難うございます。なお、今年度の役員はそれぞれ、次のようになりました。



役員体制

- | | |
|-----|--------------|
| 会長 | 金井 一夫 (49回卒) |
| 副会長 | 岩田 正 (39回卒) |
| 監査 | 石神 彰 (40回卒) |
| 副会長 | 磯部太郎平 (51回卒) |
| 監査 | 大和田智弘 (52回卒) |
| 副会長 | 神生 秀夫 (60回卒) |
| 監査 | 坂本 秀夫 (55回卒) |
| 副会長 | 長谷川重幸 (60回卒) |
| 副会長 | 岡見 雄一 (退任) |
| 副会長 | 磯部太郎平 (就任) |
| 副会長 | 岡田 早苗 (退任) |
| 副会長 | 岡見 雄一 (就任) |
| 監査 | 岡田 早苗 (就任) |
| 監査 | 長谷川重幸 (就任) |

◎平成二十五年度の主な事業

- 4月12日（金）山王神社祭礼 (学校主催)
- 6月22日（土）同窓会総会
- 卒業50周年祝賀会
- 11月23日（土）山王神社祭礼 (町内会主催)

幹事

- 五頭 和三 就任
関 邦夫 就任
- 卒業回数別代議員 (第12回卒)
平成25年3月卒
鈴木 皇也 (石岡市宇治会)
大江 至 (石岡市府中)

卒業五十周年祝賀会を

六月二十二日に開催

卒業五十周年祝賀会を六月二十二日(土)に開催しました。この事業は昭和四十八年から先輩招待祝賀会として発足し、その後本校卒業五十周年を記念する行事へと発展し、今日に至っております。今年の招待者は五十二回(昭和三十八年卒)卒業生で、出席者は十七名でした。二十六年度は卒業五十周年祝賀会を七月五日(土)に開催いたしますので多くの方の出席をお願いいたします。

新役員紹介

副会長 磯部 太郎平

(51回卒)

私、平成二十五年六月二十二日に石岡一高で開催した同窓会総会において副会長に就任致しました。昭和三十六年度卒業の磯部でございます。卒業後は実家の農業を継ぎ、専業農家として農業に従事するかたわら、昭和四十七年に野菜と植木の専門農協設立(現トキワ園芸農業協同組合)に参画し、現在に至っております。私は卒業後、同窓会活動には大変消極的で、何らお役に立つ事は何もしておりませんでした。これを機に気持ちを改め、同窓会活動をしてまいりたいと思っております。



石岡一高は創立一〇三年と、県内高校の中でも有数の伝統校であり、それぞれの地域で活躍されている同窓生も数多く輩出しており、私も卒業生の一員として大変誇りに思い、日々の活動を致しております。同窓会は、先輩・後輩が同じ門をくくり学んだということ、心を開いてお付き合いの出来る同志だと私は思います。今後は学校と密接な連携をとり、学校の発展に大いに協力して行こうと考えております。又、今まで同窓会に振り向いて戴けない会員の皆様に、少しでも同窓会活動に関心を持って貰えるよう努力をしております。微力な私でございますので皆様のご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

げ、最後になりましたが会員皆様の今後益々のご健勝とご活躍をご祈念申し上げ、就任の挨拶と致します。



監査

長谷川 重幸

(60回卒)

この度、監事を拝命致しました茨城町の長谷川でございます。

石一頑張ってます!!

ようこそ先輩!

本校OGの櫻井文さんを迎えて

「道徳」講演会!!

本校OGの櫻井文さんを迎えて、一年生を対象に「道徳」講演会を実施しました。櫻井さんは、本校を卒業後、茨城県内の看護学校に進学しました。国家試験に合格して看護師の資格を得た後、青年海外協力隊の一員として、マダガスカルに二年間派遣されました。現在は、NPO職員の母子保健専門家としてスーダンで活躍しています。櫻井さんは、マダガスカルやスーダンでの豊富な体験をもとに、文化や生活習慣の違いを、スライドなどをまじえながら、丁寧に説明してくれました。櫻井さんは、文化の異なる数多く

卒業して四十余年経過しておりますが、その間、ほとんど母校に貢献をしていない私が推挙頂いたことに大変恐縮しております。

創立百周年という大きな節目を経て、さらに大きく発展していることは関係各位のご尽力の賜物と深く敬意を表する次第であります。

今後は、母校発展のため微力ながら頑張りたいと思いますので宜しくお願い致します。

の地域がこの世界には広がっていること、自分が行なった活動は、高校生のみんなにも十分可能であることを、熱心に語ってくれました。講演中、講師と生徒がコミュニケーションを積極的に取り合う、とてもなごやかな講演会でした。



関東大会に参加して

演劇部は、富士市ロゼシアターで行われた第四十九回関東高等学校演劇研究大会に参加しました。本校が関東大会に進出するのは、実に二十三年ぶりになります。

演劇部は、地区大会、県大会を経て関東大会に推薦されます。県内五十校ほどが地区大会に参加します。関東大会に進ばれるのは、その中の二校です。この二校に入ることを目標に、日々演劇部は練習を重ねています。

今回の上演は「Cute」という作品でした。石岡一高演劇部の日常を切り抜いたような作品で、弱小演劇部の部員たちが悩みながらも成長していく姿を描きました。等身大の演技をす



ることによって、多くの観客の共感を得ることができました。これはキャスト・スタッフが丸となり、準備を重ねた結果でもありません。審査結果は、優良賞ということですが、全国大会進出は逃してしまつたのですが、爽りの多い大会参加となりました。

この関東大会での経験を活かして、これから本校の文化部をますます活性化していければと思っております。これからも演劇部の活躍にご期待下さい。

善行生徒顕彰を受賞

三年二組知久翼、中島唯人、三年三組磯原晴行の三名は、一昨年二月の下校途中、神立駅において、ひどい出血で倒れていた人を助け救急車が到着するまでの間介抱した。ことにより、一月二十四日（金）に行われた、茨城県PTA生徒指導中央大会において善行生徒顕彰を受賞しました。



**普通科・農業系学科の
特色を活かした学校づくり展開中**

石岡一高の取り組み

本校生の進路希望は大学・短大・専門学校・就職と非常に多種多様です。それぞれに希望者が少なからずいるので、それに応じた進路実現のための指導をしていかなければなりません。

平常の授業を大切にすることはもちろんではありませんが、それ以外に平日放課後の課外、土曜課外、さらには夏期休業中の課外など、学力向上のために平常の授業以外の授業を実施しています。課外授業以外の進路行事をあげますと

一学年：大学見学会・職業ガイダンス・大学模擬授業

二年生：進路懇談会・分野別ガイダンス・大学模擬授業

三年生：進路別の様々な説明会などです。本校ではこのように様々な進路行事を通して、進路実現のための支援をしています。生徒達はそれぞれで、自分を知り、自分の能力・適性を見つけだし、自分の目標を定め、そのために努力してくれればと思っております。

同窓会におかれましても、生徒のさらなる学力向上のため、進路実現のため、ご協力いただければ幸いです。



◎石一ぶどうサイダーについて

三月一日(土)の卒業式と同時に「石一ぶどうサイダー」が発売となりました。

石岡一高の農場では園芸科の生徒たちが授業でブドウを栽培しています。このブドウは国の法律に基づく「有機JAS認定」をうけたもので、無農薬・無化学肥料で栽培しないと認定されません。全国でも類を見ないブドウの有機栽培を活かそうと生徒たちが栽培、ラベルデザイン、製品化を行いました。さらに、石岡一高同窓会や石岡市農力アップ推進会議の協力を得て、製品化することができました。茨城新聞や産経新聞、日本農業新聞、茨城放送などのメディアにも取り上げられており、順調に販売数を伸ばし、石岡市や石岡一高のアピールに役立っています。同窓生の皆様もぜひ、これからの暑くなる季節に石岡一高ブランドのサイダーを石岡市内の小売店で手に取って飲んではいかがでしょうか？



◎学校活性化に向けて

入学者選抜で部活動の

「特色選抜」を実施

平成二十五年度の入学者選抜から県下で推薦入学に代わり「特色選抜」が実施され、今年度で二年目になります。

本校では、野球・サッカー・バドミントン・柔道・陸上・ウエイトリフティングの六つの運動部において、入学後も意欲的に活動する意志を持った生徒を募っています。

その様な意欲を持った生徒の入学は、学校の特徴(色・カラー・校風)を表す上でも大きな存在となります。生徒自身が特色を持ち意欲を発揮することは、学校の方向性を位置づける上でも重要なことです。運動部や文化部の生徒が、勉学とともに身体を鍛え、技を磨くことは、「文武両道」を体現する取り組みです。

現在、生徒の部活動加入率は四十%を超え、早朝練習に取り組む野球部や陸上部の生徒の姿、放課後はグラウンドや体育館・特別教室などで活気ある活動が成されています。

そのような意欲ある生徒の入学に、特色選抜が有効であることを期待しています。

山王台 点描

硬式野球部

- ・平成25年春季高校野球県大会 ベスト4
- ・平成25年選手権茨城県大会 ベスト16
- ・平成25年秋季高校野球県大会出場

バレーボール部

- 【男子バレーボール】
- ・平成25年度関東高等学校男子バレーボール大会県大会出場
- 【女子バレーボール】
- ・平成25年度関東高等学校女子バレーボール大会県大会出場
- ・平成25年度高校総体女子バレーボール大会県大会出場

ソフトテニス部

- ・関東大会地区予選
- 男子団体準優勝・女子団体優勝

男子個人(赤津・山下ペア)推薦

(五十嵐・甘利ペア) ベスト16

女子個人(荒原・松延ペア) 4位

関東大会県予選

男子団体3位

男子個人(赤津・山下ペア) ベスト16

関東大会

男子個人(赤津・山下ペア) 1回戦

全国大会地区予選

男子団体推薦・女子団体準優勝

男子個人(赤津・山下ペア) 推薦

(五十嵐・甘利ペア) 3位

全国大会県予選

男子団体3位

男子個人(赤津・山下ペア) 4位

全国大会

男子個人(赤津・山下ペア) 2回戦

地区新人大会

男子個人(石井・竹内ペア) ベスト16

(大野・小谷野ペア) ベスト16

県新人大会

男子団体2回戦

年間ランキング

男子個人(赤津・山下ペア) 6位

バドミントン部

- ・第58回関東高校選手権茨城県大会男子学校対抗 準優勝
- 女子学校対抗 第3位
- 平成25年度茨城県高校総体男子学校対抗 準優勝
- 女子学校対抗 第3位
- 女子ダブルス 吉田・成山 第3位

- ・平成25年度秋季大会
男子シングルス田上奈央弥第3位
- ・平成25年度新人大会
女子学校対抗 第3位

ウエイトリフティング部

- ・関東大会
 - 53kg級 小山 結平 6位
 - 62kg級 常井 寛 3位
 - 69kg級 小林 優介 9位
 - 77kg級 清水 大樹 7位
 - 浅野 祐太 9位
 - 85kg級 井坂 京輔 6位
 - 94kg級 萩原 雅仁 7位
 - 105kg級 小松 豊 3位
- ・第15回全国女子選手権大会
 - 58kg級 井野 由貴 8位
- ・インターハイ
 - 62kg級 常井 寛 18位
 - 69kg級 菊地 達哉 19位
 - 小林 優介 50位
 - 77kg級 浅野 祐太 39位
 - 清水 大樹 48位
- ・国民体育大会
 - 62kg級 常井 寛 9位
 - 69kg級 菊地 達哉 8位
- ・関東選抜大会
 - 56kg級 小山 結平 6位
 - 62kg級 菅野 凌平 12位
 - 69kg級 萩森 渉 11位
 - 58kg級 井野 由貴 3位

卓球部

- ・平成25年関東大会県南予選
団体優勝(男子)
個人戦シングルス男子3名 県出場
女子2名 県出場
- ダブルス男子1組 県出場
女子2組 県出場
- ・平成25年総体県南予選
団体2位(男子)
個人戦シングルス男子3名 県出場
女子3名 県出場
- ダブルス男子 3位
女子1組 県出場

バスケットボール部

- ・関東大会県南A地区予選会
 - 男子二回戦 石岡一72-49土浦湖北
準決勝 石岡一50-142土浦二
三位決定戦
石岡一85-84土浦工業
 - 女子二回戦 石岡一55-102土浦湖北
- ・高校総体県南A地区予選会
 - 男子二回戦 石岡一65-64土浦三
準決勝 石岡一59-103土浦二
三位決定戦
石岡一72-69土浦工業
 - 女子一回戦 石岡一43-79国際大学
- ・総体県予選会
 - 男子一回戦 石岡一62-119多賀
- ・新人大会県南A地区予選会
 - 男子二回戦 石岡一78-92土浦湖北
敗者復活戦 石岡一44-77国際大学

剣道部

- 女子一回戦 石岡一72-51石岡二
二回戦 石岡一85-86土浦湖北
敗者復活戦 石岡一69-58常総学院
代表決定戦 石岡一58-91土浦三
- ・関東大会予選
 - 【団体戦】
男子・女子団体出場
 - 【個人戦】
男子六名出場・女子三名出場
- ・全国高校総体県予選
 - 【団体戦】
男子・女子団体出場
 - 【個人戦】
男子二名出場・女子二名出場
- ・勝ち抜き大会
 - 【団体戦】
男子・女子団体出場
 - 【個人戦】
男子・女子団体出場

陸上競技部

- ・県南地区大会 H25・4/25-27
 - 【男子】
3000m SC 3年・狩谷 第9位
 - 【女子】
1500m 2年・滝田 第8位
- ・県大会 H25・5/10-13
 - 【男子】
3000m SC 3年・狩谷

- 予選10分36秒78
- 【女子】
1500m 2年・滝田
予選5分00秒79
- ・県選手権 H25・7/5-7
 - 【女子】
1500m 2年・滝田
予選5分04秒43
 - 800m 2年・滝田 棄権
 - 5000m 2年・滝田 第22位
- ・県学年別 H25・7/16-17
 - 【男子】
共通800m 2年・宮本
2分07秒59

- ・県南新人大会 H25・9/12-14
 - 【男子】
走幅跳 2年・森 第9位
110m H 2年・森 第6位
 - 【女子】
1500m 2年・滝田 第5位
- ・県新人大会 H25・9/26-28
 - 【男子】
4x100m R 三好・森・吉田・宮本
走幅跳 2年・森
110m H 2年・森
 - 【女子】
1500m 2年・滝田
県駅伝 H25・11/6
滝田・伊藤・野口・湖田・小林

・土浦マラソン大会 H25・12/1
男子5K 2年・宮本 第4位

・笠間マラソン H25・12/15
女子5K 2年・滝田 優勝

・高滝マラソン H26・1/11
男子ハーフマラソン

3年・狩谷 1時間21分01秒
・牛久シテイマラソン H26・1/14
男子10K 2年・宮本 第12位

・県南駅伝 H26・1/20
【男子】
狩谷・宮本・三好・吉田・菅生 第8位

【女子】
伊藤・小林・滝田・野口・大久保 第3位

2区 1年・小林 区間2位
・県新人駅伝 H26・2/4
滝田・伊藤・大久保・野口 4区で途中棄権

1区 2年・滝田 区間7位
【男子】宮本・吉田・三好
県南合同チーム(OP参加)
(参考順位 第24位)

・つくばねマラソン H26・2/23
男子10K 2年・宮本 第13位
1年 吉田 第29位

サッカー部

《関東高校サッカー大会》
・地区大会

一回戦 対中央 1対0
代表決定戦 対藤代紫水 3対2

・県大会
一回戦 対土浦湖北 2対3

《全国高校総体》
・地区大会
一回戦 対中央 0対5

《全国高校サッカー選手権》
・地区大会
一回戦 対取手一 6対0

代表決定戦 対土浦一 2対5
《高校サッカー新人戦》
・地区大会
一回戦 対牛久 3対0

代表決定戦 対東洋大牛久 0対3
《U-18 JFA 県南地区リーグA》
5勝4敗 5位

弓道部

・参加大会(県大会以上)

①関東大会県予選(女子)
女子が予選上位6校に残り、決勝リーグ進出。県で6位となった。

②全国大会県予選(男子・女子)
③関東個人県予選

(男子5名・女子6名)
1年生男子(石塚)が決勝に残り、1年生の部で個人県5位。

④新人戦 全国選抜県予選
(男子・女子)

⑤冬季大会 東日本大会県予選
(男子・女子)

その他各自昇級・昇段も順調であり、

今年度の昇級・昇段の人数は、
二級10名、一級6名、
初段7名、武段11名である。

柔道部

三年男4名、二年男7名・女5名、
一年男7名、女1名の計24名で活動
〔平成二十五年大会結果〕

・関東大会県予選
男子団体ベスト16

・全日本ジュニア県予選
女子63kg級 岩井 和 4位

・県南選手権大会
男子団体3位

男子66kg級 松浦朋輝 1位

男子81kg級 堀口健太 3位

男子100kg超級 根本勇樹 2位

女子57kg超級 櫻井愛美 2位

豊島知穂 3位

・県南新人大会
男子団体3位

女子団体3位

男子66kg級 松浦朋輝 1位

男子100kg超級 根本勇樹 2位
女子57kg級 櫻井愛美 2位
女子57kg超級 櫻井愛美 3位
豊島知穂 3位

文芸部

文芸部は、女子十八名で活動しています。

小説やイラストなどの生徒の作品を
部誌「クリエイト」で発表しています。

今年度は、三回発行することができ
ました。図書館にも置かせていただ
いているので、ぜひ、手に取ってご
覧ください。

写真部

・平成25年度茨城県高等学校
総合文化祭写真展入選

二年 齋藤 綾香
三年 大瀬 祥平
一年 石井 陽久

なお、石井陽久の作品は平成26年
度全国総文祭茨城県内展に展示され
る予定です。

26年度は全国総文祭いばらき大会
で全国の写真部員を迎えます。み
んなに楽しい思い出を
たくさん作っても
らえるように頑
張っていきます。



美術部

・平成25年度茨城県高等学校
総合文化祭美術展覧会 入選

高栖晴菜（一年四組）

渡邊明花（一年四組）

高久麻矢（二年四組）

・第53回関東ブロック造形教育

研究大会美術作品 選抜

高栖晴菜（一年四組）

渡邊明花（一年四組）

・第68回県南高等学校連合美術展

作品出品 6名



演劇部

・茨城県高等学校演劇研究大会

11月16日

優秀賞を受賞（上位2校）

・第49回関東高等学校演劇研究大会

1月25日

優良賞を受賞

音楽部

《吹奏楽》

第53回吹奏楽コンクール県南地区大会

優秀賞、その他、施設などへの訪問

演奏、市のイベント、高等学校音楽祭

への参加、県南地区で活動している吹

奏楽団との合同演奏なども行い、幅広い

活動をしています。

《合唱》

四人という少人数ながら、市の音楽

祭や高等学校音楽祭に参加し、パワフ

ルな歌声を披露しています。

茶華道部

茶華道部は、龍生派華道と表千家茶

道の練習を山王会館にて練習していま

す。

華道では、季節の花を取り入れなが

ら生け花やフラワーアレンジメントを

楽しみ、校内に飾ったりしています。

茶道では、お茶の点て方や礼儀作法

など日本独自の文化を学び、将来に生

かせるよう努力しています。

将棋部

・春季大会個人戦

郡司直弥 2勝3敗（B級）

佐藤 駿 1勝4敗（B級）

・夏季大会個人戦（竜王戦）

郡司直弥 2勝3敗（C級）

佐藤 駿 2勝3敗（C級）

・段級位認定将棋大会

郡司直弥 1勝4敗（D級）

・秋季大会個人戦

郡司直弥 1勝3敗（B級）

佐藤 駿 1勝3敗（B級）

JRC部

私たちJRC部の主な活動は、放課

後に近くにある保育園に持っていくカ

レンダーを製作したり、月数回保育園

を訪問し子ども達と遊びを通して一緒

に活動しています。その他にも、長期

休業には市内の幼稚園で一日保育ボラ

ンティアに参加したり、障害者支援施

設で開催される納涼祭やスポーツ大会

のお手伝いをしています。

今年も青少年赤十字・青年奉仕団交

流会に参加し、大学生や他校のJRC

部の方々と交流する事ができました。

現在部員は少ないですが、このよう

な活動に参加する事で勉強になる事

が沢山あり、とても良い機会でした。

これからも積極的に参加し活動をして

いきたいと思っています。

英語部

私達の英語部は創設二年目を迎え、

英語の好きな者どおしが集まり、英語

検定試験やコンテストに向けて個人個

人が一生懸命練習しています。

昨年度は英語スピーチコンテストで

二年三組の秋山早登君が優秀賞をいた

だきました。「人類共通の言語」と題

して、自分の好きな音楽を介して将来

は仕事をしたいと言う内容で立派に表

現してくれました。

また部活動研修会では、他校生と共

に勉強したり、大学の講義を受けたり

しました。JICAでは海外からの研

修生と交流し視野を広めることができ

ました。

今年も多くを吸収するため様々な事

柄に挑戦し、更なる好成績を残せるよ

う努力していきたいです。



園芸部

園芸部は園芸科と造園科の三年生十二名が季節にあつた草花を栽培し、また育てた草花で地域を華やかにする活動を行いました。

今年はマリーゴールドや五色唐辛子などの草花を栽培しました。

育てた草花の苗はプランターに植えて、学校の玄関をはじめ、石岡駅前、石岡市役所や警察署など、石岡市内の各施設に配布し、玄関や建物の周りを装飾しました。

地域に配布されたプランターは、配布先の方々に大切に栽培されて石岡市内を彩っています。

また、地域の方は「いつも素敵な草花をありがとう」と笑顔で言ってくれます。



造園部

造園部は二十三歳以下の若年技術者が参加する技能の祭典に出場することを目指し、専門技術の研鑽に努めています。最優秀の金賞受賞者は国際大会も有り、世界中の職人が目指す大会です。

昨年は二年生の小林巧君が出場しました。制限時間内に完成することが出来たので、今年に入賞を目指します。

技能五輪中央大会造園職種

実施日 平成25年11月22日～25日
会場 東京都立木場公園



書道同好会

- ・全日本書初め大展覽会(出品)
- ・ふれあい書道展(出品)
- ・高校生国際美術展(出品予定)

平成25年度

進路状況

(過年度生を含む)

国公立大

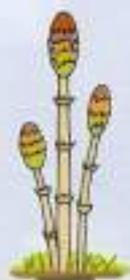
7名

茨城大6名/福島大1名

私立大

210名

亜細亜大3名/足利工業大4名/跡見学園女子大2名/茨城キリス大11名/桜美林大1名/神奈川工科大5名/川村学園女子大5名/関東学院大1名/群馬医療福祉大1名/國學院大2名/国土館大9名/駒澤大1名/埼玉工業大2名/相模女子大1名/実践女子大1名/淑徳大3名/城西大3名/城西国際大1名/上武大1名/聖徳大4名/大正大1名/大東文化大7名/高千穂大2名/拓殖大4名/千葉工業大4名/千葉商科大2名/中央学院大8名/筑波学院大1名/つくば国際大7名/帝京大6名/帝京平成大2名/東海大2名/東京家政大1名/東京経済大2名/東京工業大2名/東京情報大1名/東京電機大1名/東京福祉大1名/東京未来大1名/東京薬科大1名/東洋大8名/東洋



学園大3名/常磐大24名/日本大5名/白鷗大3名/文教大3名/平成国際大1名/法政大1名/明海大1名/明星大2名/目白大4名/立正大9名/流通経済大19名/國澤大6名/和光大1名

短大

16名

茨城女子短2名/聖徳大短大2名/拓大北海道短2名/つくば国際短3名/常磐短4名/東京農大短大部1名/東京経営短1名/國學院栃木短1名

就職者

60名

専門学校

80名

(会報題字)

塙 正守氏(書家・第三十九回卒)